

市内のアスリート 情報発信やPRを行う考えは

広報やホームページ等を通して より一層PRしていく

高野 律雄議員 文化やスポーツなどの分野で、府中市にゆかりのある人達が活躍することはまちの誇りであり、その活躍をたたえることが郷土愛をはぐくむことにつながる。

市内には、大企業の工場や関連施設等が多く、全国レベルで活躍するアスリート(競技者)が多数在籍している。



▲全国社会人ラグビー大会決勝戦から

な市内企業のアスリートの活躍を広く伝えるための情報発信コーナー設置の考えは。

また、より一層PRをする方法があるか聞きたい。

生涯学習部長 市内に在籍するアスリートを応援し、その存在を市民に知ってもらうことは大切と考える。

ダイオキシシン対策 家庭用焼却炉の早期処分は 広報等で法令の趣旨や回収の PRを徹底していく

備 邦彦議員 平成11年に制定された府中市環境基本条例に基づき、ここで府中市環境基本計画が策定され、その重点施策の一つとして、ダイオキシシン類など有害物質対策の推進が掲げられている。

しかし、いまだにダイオキシシン類の発生が心配される家庭用焼却炉が見受けられ、現にまだ使用している所もあるようである。

このような焼却炉について、早急な対処が必要と思うが、

性同一性障害者等の 社会環境改善の考えは

職員一人ひとりの認識が必要 窓口対応を徹底していく

稲津 憲護議員 少数ではあるが、心と体の性が一致しない性同一性障害者や半陰陽の人たちは、性に対する社会認識の狭間で生活をしている。

こうした人たちに對する社会的環境の改善や人権的な見地から制度上の壁を少しでも低くしていくことが、本當の意味での開かれた市政、市の責務であると考えます。

そこで、次の取扱いについて考えを聞きたい。

誰もが安心して暮らせるまちづくり 市の取組みは

福祉や生涯学習等 幅広い分野で充実に努めている

手塚 歳久議員 誰もが生き生きと活動し、いつまでも安心して暮らせるまちを目指して、以下の3点について聞きたい。

①元気に活動している高齢者への支援は②生涯学習の充実施策は③バリアフリーの進捗よく状況は。



▲高齢者軽スポーツ大会から

「スロー」をキーワード 人にやさしいまちづくり 駅のバリアフリー化は

今後も鉄道会社へ 強く要望していく

遠田 宗雄議員

現在の日本

「スロー」をキーワードに「人にやさしいまち」府中市のまちづくり、人づくりについて聞きたい。



▲京王線府中駅構内

地方分権の財源移譲 国の動向は

本年6月に改革案が 提出される予定

池田 茂二議員 地方分権と言われだして久しい。

本来、地方分権の推進には、地方自治体の権限とその財源が一体となるべきだと考える。

そこで、財源移譲について国の動向はどのようになっているか。また、市としてどのような対応をしていくのか、考えを聞きたい。

は、財源移譲と国庫補助負担金の縮減、地方交付税の見直しを合わせて行う、三位一体の改革が議論されている。

都市建設部長 ②京王電鉄、JR東日本、西武鉄道へ申し入れ、強く要望していく。

レジオネラ菌 老人福祉施設の浴槽は万全か

点検の結果どの施設も安全 今後も指導を徹底したい

田中 慎一議員 各地の入浴施設でレジオネラ菌による事故が報道されている。

市内の諸施設についても心配されるが、特に、市の助成で建設された老人福祉施設等については、市に、その管理責任があると思う。

事故防止については、今後保健所と連携し適切に対応したい。

安全管理面では、各施設への指導や報告を今後も徹底し、事故防止に努めたい。

市長の方針でスタートしている1億円枠予算の考え方及び政策優先順位との関連について、市民にやさしい特色のある、府中市版セーフティネットの施策の推進について、エコ食器類などの使用を、府中市の学校教育施設などで、幅広く導入していくべきではないか

総務部長 現在、国において